



鹿児島県立図書館

ホットニュース

令和6年度海音寺潮五郎 記念文化講演会



写真提供/文芸春秋

県立図書館では、下記のとおり、海音寺潮五郎記念文化講演会を開催します。海音寺潮五郎作品の朗読は出水中央高等学校の放送部の皆さんが行います。講演は、2023年『極楽征夷大將軍』（文芸春秋）で第169回直木三十五賞を受賞された、垣根 涼介（かきね りょうすけ）氏をお招きし、「『衆望』とは何か」という演題で、足利尊氏という人物、その五百年後の鹿児島の英雄 西郷隆盛にも触れた講演をしていただきます。参加費は無料ですが事前の申込みが必要です。定員は先着300人です。是非、フレッシュな高校生の朗読と垣根先生の講演を聞きにお越しください！

- 日時 令和6年10月26日（土）13：30～15：40
- 会場 カクイックス交流センター 県民ホール
- 申込み 鹿児島県立図書館HPにアクセスし、申込用紙または、2次元コードによる電子申請からお申込みください。



図書館で探そう、調べよう！ 鹿児島の妖怪を調べたい

夏休みになると、自由研究や夏休みの課題に取り組む子供たちが訪れます。そんな中、「鹿児島県にはどんな妖怪がいるのか調べたい」という問合せがありました。

妖怪に関する本は、日本十進分類表1類の「妖怪・幽霊」、3類の「伝説・民話」に関連する資料を所蔵しています（一般閲覧室にも『日本怪異妖怪事典 九州・沖縄』朝里 樹/監修 笠間書院などの妖怪の本があります）。まずは、『47都道府県!!妖怪めぐり日本一周』妖怪探検隊/編著 大月書店や『妖怪の日本地図』千葉 幹夫、粕谷 亮美/文 汐文社などを紹介しましたが、鹿児島県を代表する妖怪は、一反もめんが大隅（肝属郡高山町）、ケンムンが奄美大島というくらいで思いのほか少なかったようです。

そこで、範囲を狭めて「鹿児島市内の妖怪の話を探してみる」ということになりました。なかなか難しい質問です。そこで、狐が様々な妖怪に化けて主人公を驚かす話はどうだろうかという鹿児島の三大民話『大石兵六夢物語』毛利 正直/著 南日本出版文化協会、『吉野兵六ゆめものがたり』地域サポートよしのねぎぼうず/編 を紹介したところ、「これ吉野町のお話なの？初めて知った！」と驚きながらページをめくっていました。保護者の方も初めて知ったとのこと。この話を読んで、現在の吉野のどの場所でどの妖怪に出会ったのか、史跡も巡ってみたいということでした。

図書館は人と本が繋がる場所です。今回紹介した本は昔から語り継がれている郷土の民話、伝承などですが、子供たちにとっては、“新しい”出会いになったようです。

《一般図書》9月13日(金) **新着図書案内** 《児童図書》9月23日(月)

- オッペンハイマーの時代 核の傘の下で生きるということ 澤野 雅樹/著 言視舎
- なかよしかぜ 角野 栄子/作, どい かや/絵 教育画劇
- スマホ片手に文学入門 検索で広がる解釈の楽しみ方 小池 陽慈/著 笠間書院
- まねをしました すず きみえ/作, 下平 けーすけ/絵 文研出版
- 手はポケットの中 コーダとして生きること ヴェロニク・プーラン/著 志村 響/訳 白水社
- 真実の口 いたう みく/著 講談社



左の二次元コードから今月の新着資料のすべてを御覧いただけます。画面上段のプルダウンリストから館種と図書種別が選べます。お探しの分類（歴史、文学全般 等）をお選びください。

催し物の御案内



- 宝本エピソード展
開催期間：10月26日(土)～11月17日(日)
開催場所：鹿児島県立図書館玄関ホール
県立図書館が推薦している「宝本」のエピソードを紹介する展示です。
- 一般閲覧室ミニ展示
10月1日(火)～10月31日(木)
「働くなって何だろう」
10月は「個別労働紛争処理制度」周年月間です。雇用に関するアレコレについての本を集めました。
- 児童文化室ミニ展示
9月23日(月)～10月22日(火)
「平和ってすてきな」
戦争や平和について考えを深めてみましょう。

職員のつばやき

本と私の出逢いは、小学1年生に遡ります。当時、喘息を患っていた私に、布団の上で退屈しないように・・・と両親が文学全集を買ってくれたのが初めての出逢いです。本を開けば、おはなしの世界が私をわくわくさせ、大好きな本は何度も読み返しました。高学年になると「江戸川乱歩シリーズ」に夢中になり、奇術的なトリックと不気味な雰囲気にとドキドキしたのを覚えています。大人になってからは、川上弘美さんの「センセイの靴」や北村薫さんの「円紫さんと私シリーズ」など、じんわりと気持ちがほぐれる一冊を好んで読むようになりました。近頃はというと、かっぱえびさんのパッケージからヨシタケシンスケさんの沼にハマリ、84歳の母と絵本を読みながら昼寝するのが最高の贅沢になっています。もちろんかっぱえびせんをつまみながら（笑）。特別なことでなくていい。「気づけばそこに本がある」それが私の幸せだなあ、と思うこの頃なのです。

わが家・わたしの「宝本」

今回紹介していただいた宝本は、キャサリン・バーキンショー/作、吉井 知代子/訳の『ラスト・チェリーブロッサム わたしのヒロシマ』（ほるぷ出版）です。

夏休みに広島市の平和記念資料館などを見学したこともあり、タイトルが気になって読んでみました。資料館では、原爆投下後の悲しい現実を突きつけられることが多かったのですが、この本を読んで、原爆投下前の広島にも、今の私たちと変わらない何気ない日常があったことにも気づきました。私は戦争については本でしか読むことがありません。でも、読んだ本を紹介することで、平和の大切さを伝えていくことはできるかもしれません。この本は、私にとって、さまざまな形で平和を伝え続けていくことの大切さについて教えてくれた一冊です。（小学6年生）



【家族からひとこと】

戦争体験者から体験談を聞くことが難しくなってきた今の時代でも、本を読むことで平和について考えることも出来るのだと改めて感じました。誰かがこの本を手にとることで平和の輪が広がっていくことを願っています。

児童文化室から

にじいろのほん『どろんこぶた』
アーノルド・ローベル/作、岸田 衿子/訳、（文化出版局）からのクイズです。

こぶたの だいきらいな ものは？

- ①そうじき ②テレビ ③ソファ

ヒント

おうちを きれいにするよ

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、10月14日（月）までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどをプレゼントをします。前回の答えは「②いす」でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
9月	15	16	17	18★	19	20	21◆
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	1	2★	3	4	5
10月	6	7	8	9★	10	11	12
	13	14	15	16★	17	18	19◆

開館時間 火曜日～土曜：9時～21時
日曜日・祝日（白抜）：9時～17時

- は、休館日
- は、学習室のみ開室(9時～17時)
- ★は、おはなしのじかん(毎週水曜日15時30分～16時)
- ◆は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日14時～)
- ◇は、一般閲覧室新着図書の日（9月27日、10月11日予定）
- は、児童文化室新着図書の日（9月23日）

カバー、ページ破れ等の破損等を見つけたら、御自身で修理せずに、カウンターまでお持ちください。